

❖ 科目名 Course Title			
心理学（動物と人間の行動）		[BEHAVIOR ANALYSIS]	
❖ 担当教員 Instructor			
渡邊 芳之 [WATANABE Yoshiyuki]			
❖ 開講学期 Semester	前期	❖ 対象学年 Year	1～
❖ 履修可能人数 Capacity	20	❖ 単位数 Number of Credits	2
❖ 授業形態 Type of Class	講義		

❖ キーワード Key Words	
行動、生得的行動、学習、条件づけ、問題行動	
❖ 授業の目的 Course Objectives	
心理学を初めて学ぶ人が、心理学の主要な問題のひとつである行動の形成と変化について理解し、心理学的な視点から人や動物の行動をとらえることができるようになることを授業の目的とする。	
❖ 授業概要 Course Description	
動物や人間の行動が形成され、変化していく仕組みについて、生得的行動と学習される行動という視点から考える。とくに条件づけによる学習の仕組みに重点を置き、基礎的な理論を確実に学習するとともに、それが動物の行動や人間の行動の問題解決や改善にどのように応用されるかについても学ぶ。	
❖ 到達目標 Course Goals	
<ol style="list-style-type: none"> 1) 生得的行動と学習される行動それぞれの意義を理解する 2) レスポンデント条件づけのしくみと意味について説明できる 3) オペラント条件づけの仕組みと意味について説明できる 4) 条件づけのしくみが動物や人間の行動とどのように関係しているか説明できる 	
❖ 授業計画 Course Schedule	
<ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション 心理学の歴史と現在，行動・環境・学習 2 行動の種類 生得的行動と学習される行動，それぞれの持つ意味 3 生得的行動（1） 反射と走性，本能的行動，環境と解発刺激 4 生得的行動（2） 進化と行動，生得的行動と学習される行動の境界 5 学習される行動 学習される行動の種類，学習と条件づけ 6 レスポンデント条件づけ（1）パブロフと条件反射 7 レスポンデント条件づけ（2）人間行動とレスポンデント条件づけ 8 オペラント条件づけ（1） スキナーとスキナー箱 9 オペラント条件づけ（2） 強化と罰，弁別刺激と強化随伴性 10 オペラント条件づけ（3） 強化のスケジュールと消去抵抗 11 オペラント条件づけ（4） 人間行動とオペラント条件づけ 12 社会的学習 観察学習，モデルとモデリング 13 学習理論の応用（1）動物の訓練としつけ，動物の問題行動への対処 14 学習理論の応用（2）行動療法と認知行動療法 15 学習理論の応用（3）応用行動分析と生活技能訓練（SST） 	
❖ 成績評価 Grading System	
期末試験によって評価する（10割）。不合格者の追再試験は原則として実施しない。	
❖ テキスト Textbooks	
<p>テキストは用いない。</p> <p>授業で用いるプレゼンテーションは研究室ホームページよりダウンロードできる。</p>	

<p>❖参考書Reading List</p> <p>「心理学・入門 ―心理学はこんなに面白い」(サトウタツヤ・渡邊芳之, 有斐閣, 2011年) 「メイザーの学習と行動」(ジェームズ・E. メイザー, 二瓶社, 2008年) 「行動分析学入門」(杉山 尚子ほか, 二瓶社, 1998年) 「動物心理学史―ダーウィンから行動主義まで」(R. ボークス, 誠信書房, 1990年) 「学習心理学における古典的条件づけの理論―パヴロフから連合学習研究の最先端まで」(今田 寛(監修), 培風館, 2003年) 「パヴロフ―脳と行動を解き明かす鍵 (オックスフォード科学の肖像)」(ダニエル・P. トーデス, 大月書店, 2008年) 「パヴロフの犬:実験でたどる心理学の歴史」(アダム・ハート=デイヴィス, 創元社, 2016年) 「行動主義の心理学」(J. B. ワトソン, ちとせプレス, 2017年)</p>
<p>❖準備学習Homework</p> <p>予習: 前回の「ふりかえり」を確認する。研究室ホームページで紹介された参考文献を参照する。 復習: 授業のノートを確認する。とくに毎回の「ふりかえり」をよく確認する。</p>
<p>❖オフィスアワーOffice Hour</p> <p>質問や相談は渡邊の研究室(総合研究棟1号館2階, N2307-3室)にて常時受け付ける。メールでの質問や相談も受けるがメールには必ず件名(タイトル)をつけ, 本文に学籍番号と氏名を明記すること(これを守らないメールには返信しません)。</p>
<p>❖連絡先 (E-mail) E-mail</p> <p>ynabe@obihiro.ac.jp</p>
<p>❖質問・相談への対応方法Contact Information</p> <p>メールでの質問や相談の場合, メールには必ず件名(タイトル)をつけ, 本文に学籍番号と氏名を明記すること(これを守らないメールには返信しません)。</p>
<p>❖履修上の注意Notes</p> <p>この授業は北海道内国立大学教養教育連携科目として道内の他大学に同時配信されるため, 毎回通信機器の準備確認などに授業時間の一部が使われることがある。</p>
<p>❖備考Other Information</p> <p>心理学研究室ホームページ http://www.obihiro.ac.jp/~psychology/</p>

※「対象学年」と「単位数」は, 科目提供大学における数字であり, 受講大学に応じて異なるので, 所属大学で確認してください。

※「履修可能人数」は, 科目提供大学以外的人数であり, 遠隔と対面それぞれの受講形態で履修できる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで履修可能。)

※北海道大学の対面授業は, 教室の収容人数によって履修できない場合があります。